

日本を支える。

～地域建設産業の使命～

東北建設業協会連合会

「公共事業」とは？

Question

よく耳にする公共事業とは？

Answer

公共事業とは「社会資本」を整備すること

- (1) 行政主体、または私人によって行われる公共の利益を目的とする事業、公益事業
- (2) 国や地方公共団体が財政資金により行う事業

社会資本とは何か？

Question

次の中で社会資本はどれ？

① ダム

② 高速道路

③ マンション・アパート

④ 空港・鉄道

⑤ 百貨店



社会資本とは何か？

Answer

すべてが「社会資本」

自然豊かな「日本」＝火山帯、山が7割、雨が多い、夏は暑い、雪が降る、地震が多い、短く急な川……



このような国土で「安心」「安全」「快適」「豊か」に暮らしていくためには **社会資本の整備が重要！**

公共事業の削減

近年、公共事業が削減
公共事業＝「悪」の風潮がある

本当？ ➡ No!

社会資本の整備がなければ、
私たちの社会も生活も成り立たない！

公共事業 = 社会資本 = 地域の資産

つまり

**地域の資産をつくることこそ、
地域建設産業の使命！**



建設業の就業者が減少

「安心」「安全」「快適」「豊か」な
社会資本・地域の資産をつくることが建設産業

建設産業は全産業の約1割の
就業人口を占める「基幹産業」

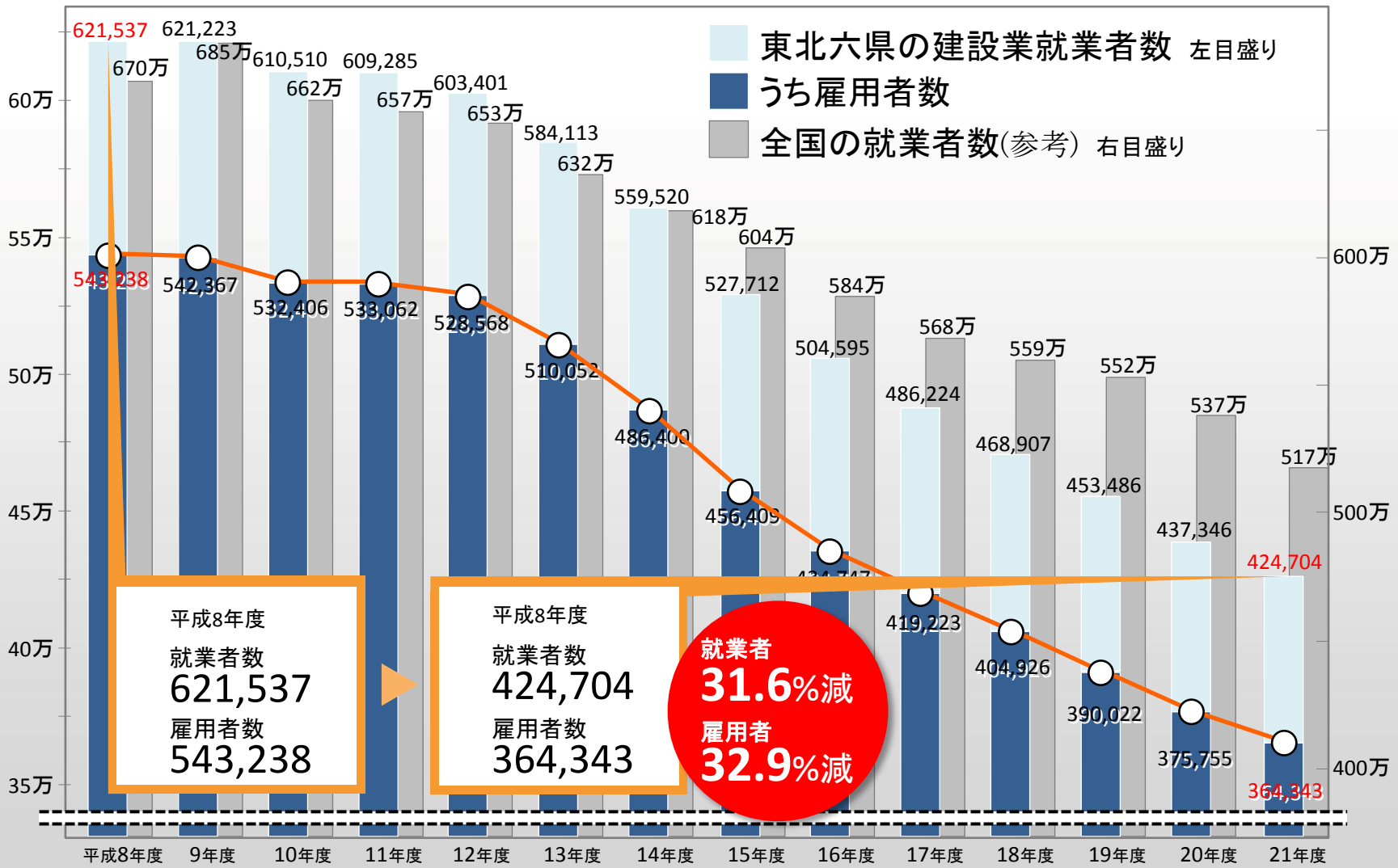
しかし

建設業就業者、特に技術者が全国的に減少中

特に東北6県は顕著

建設業の就業者が減少

全国と東北六県の建設業の就業者数・雇業者数14年間の推移



ゼネコンと地域の建設会社の違い

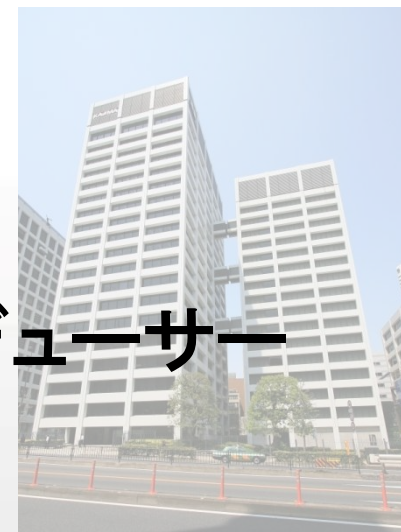
●ゼネコン

General Contractorの略称

大手総合建設業者のこと

工事全体のとりまとめを行うプロデューサー

病院で例えれば「総合病院」



●地域建設会社

現場で実際に専門的な作業を行う会社のこと

気候や特徴など地域を熟知する

現場のプロフェッショナル

病院で例えると「町のお医者さん」



”骨格”ができない東北

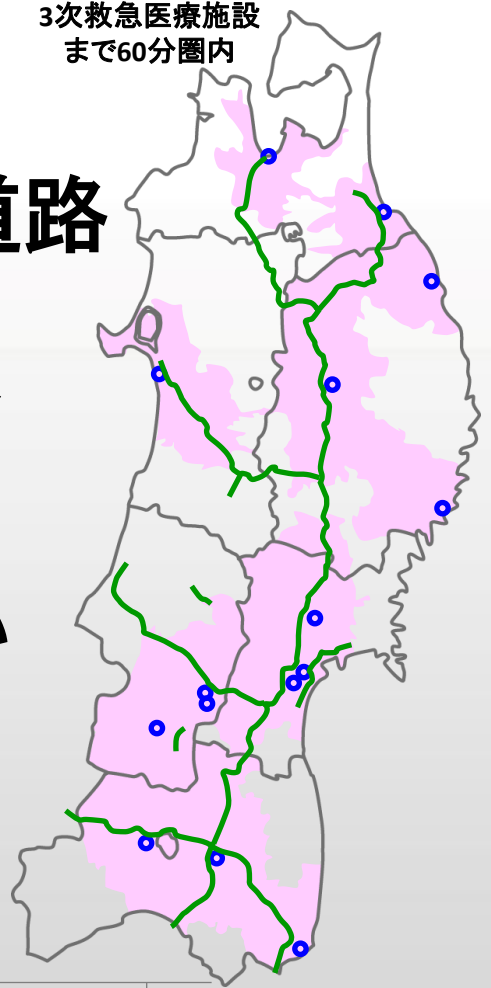
東北地方の現状

●5割が開通したに過ぎない高速道路

昭和40年代後半に初めて東北で
高速道路が開通して約30年
計画の5割が開通したに過ぎない

高速道路は、ただ**便利**なだけで
はない「命の道」である

3次救急医療施設
まで60分圏内

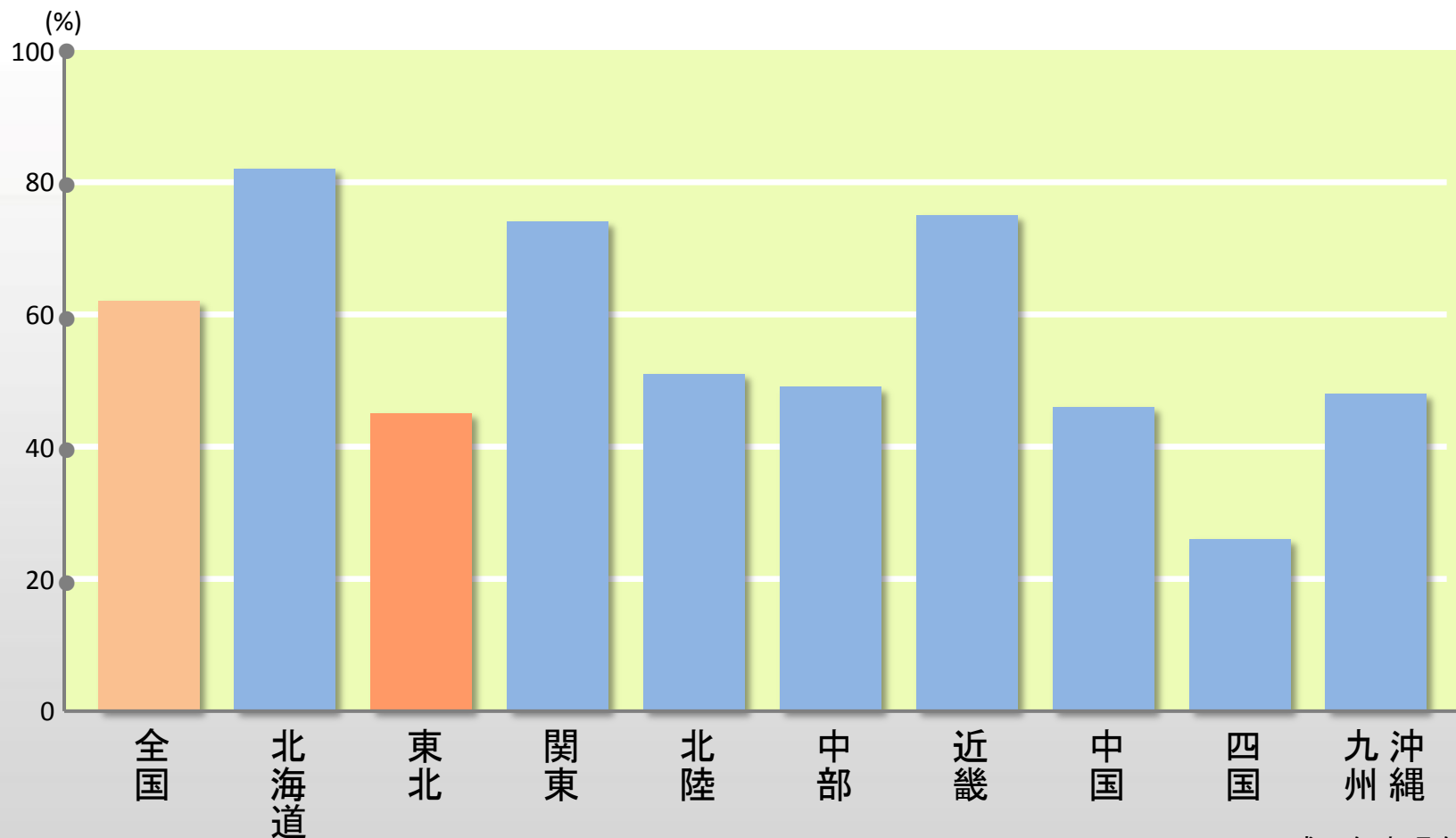


高規格幹線道路	—	注) 高度救急医療施設:
60分カバー圏	■	高度な医療施設
高次(三次)救急医療施設	●	技術を持つ病院

資料:平成12年末国土交通省東北地方整備局

東北地方の現状

●下水道普及率が低水準

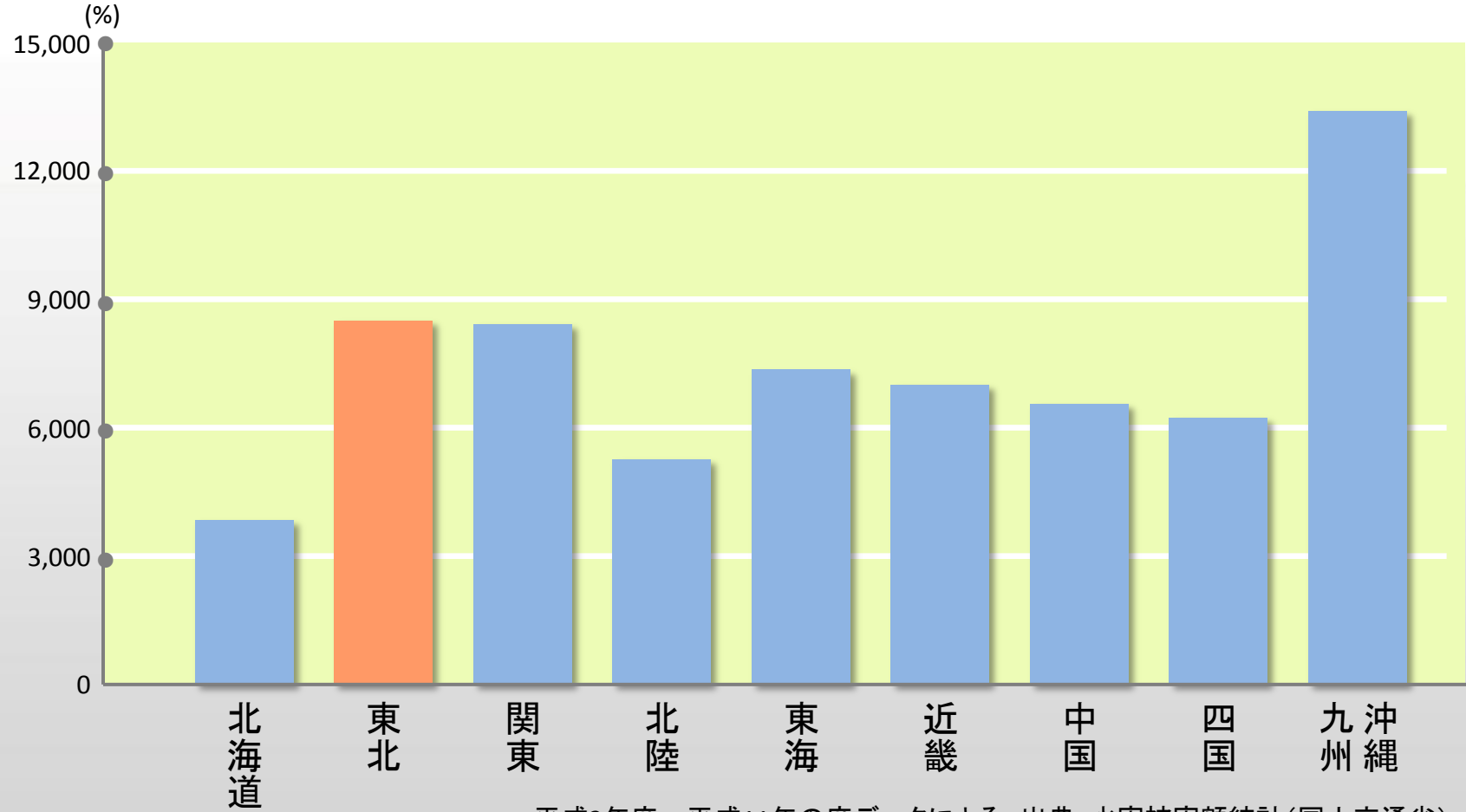


平成12年末現在

東北地方の現状

●自然災害が多い

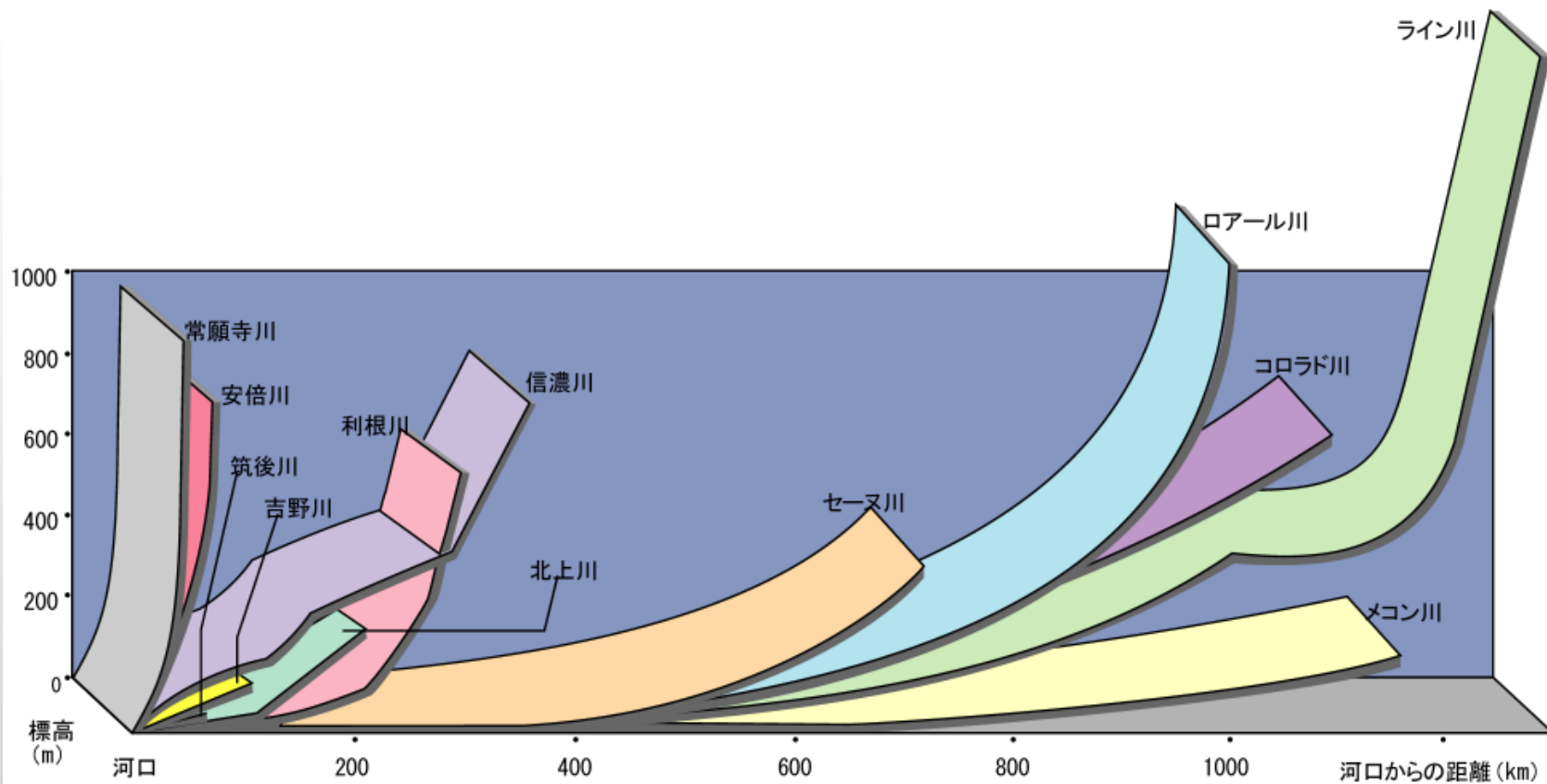
【地震 雪 水害】



平成2年度～平成11年の度データによる 出典:水害被害額統計(国土交通省)

東北地方の現状

日本と諸外国の河川勾配の比較



東北地方の現状

東北は「安心」「安全」「快適」「豊か」の
社会資本の骨格ができていない！

東北はもっと発展しなければならない！

誰が、目に見える「東北発展」に
貢献できるのか？

地域建設産業

東日本大震災について

2011年3月11日(金)14:46 東日本大震災 発生

●地震の概要

- 地震名：「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」
- 発生場所：三陸沖(北緯38度、東経142度、深さ24km)
- 規模：モーメントマグニチュード 9.0
- 最大震度：7(宮城県栗原市)

東日本大震災について

●東日本大震災の被害

平成25年3月11日18時45分現在

死者(人)

青森	3
岩手	4,673
宮城	9,536
秋田	0
山形	2
福島	1,606
全国	15,882

行方不明(人)

青森	1
岩手	1,151
宮城	1,302
秋田	0
山形	0
福島	211
全国	2,668

負傷者(人)

青森	111
岩手	213
宮城	4,144
秋田	11
山形	29
福島	182
全国	6,142

東日本大震災について

●建物被害

全壊(戸)

青森	308
岩手	18,369
宮城	85,259
福島	21,141

半壊(戸)

青森	701
岩手	6,547
宮城	152,875
福島	72,714

東日本大震災について

●道路損壊(箇所)

青森	2
岩手	30
宮城	390
秋田	9
山形	21
福島	187

東日本大震災について

橋梁被害(箇所)

岩手	4
宮城	12
福島	3

山崖崩れ(箇所)

岩手	6
宮城	51
山形	29
福島	9

堤防決壊(箇所)

宮城	45
----	----

鉄軌道(箇所)

宮城	26
----	----

地域建設業の啓開活動の功績

震災発生、その時 地域建設業は何をしていたか？

異常時の連絡・記録 平成23年 3月 11日

時間	相「勤」手	受信者	連絡内容
3/11 14:46			地震発生 震度5強
14:50			箱石 管理道路 110-D-11 開始
15:10			浜田 河川 110-D-11 開始
16:00	起成 (火消隊)	浜田	・中2の現場から煙が出ている通報有り ・北分署 現地向かうがカギが掛かっている ので確認できない。技術センターにTEL い30分連絡つかず
16:30	道路管理科	浜田	・338号通行止めの要請有り 途中でTEL不通だった
17:00	浜田	中	・通行止めの件 確認した所、三村・柏崎現場で 動いているとの事。出動した
17:10	浜田	箱石	・技術センターにカギを取りに向かう。
17:15	浜田	金野 幸司	・河川件結果報告 異常なし (津波到来前) 1600終了 ・津波の後 110-D-11 終了

地域建設業の啓開活動の功績

■震災時の献身的働き

その献身的な救援活動に注目が集まった自衛隊



では、自衛隊はどうやって
被災地域へ入ったのか？

啓開活動の様子

■啓開活動

地域建設産業が道を切り開く
「啓開」活動



啓開活動の結果

- ▼ 震災翌日には、東北道、国道4号から太平洋沿岸主要都市へのアクセスルートを11ルート啓開、確保。
- ▼ 3月15日までに15ルートを確保。
- ▼ 3月18日（震災から1週間）で、国道45号等、太平洋沿岸の縦方向の道路啓開を推進。
97%が通行可能に。

出典 国土交通省東北地方整備局
「東日本大震災 復興までの道のり」



啓開活動が早くできた理由

「災害協定に基づき地元建設業等の協力が得られたこと」が理由の一つ

沿岸部の国道45号等の道路啓開については、**建設業界と事前に災害協定を締結しており、震災直後から、地元建設業等の協力が得られた**
(地元建設業や内陸部の建設業全52チーム)

地域建設業の啓開活動の効果

東日本大震災の直後
になされた道路や港の
啓開活動が、救援部隊
の移動、物資輸送、
人々の避難に大きく役
立った。



宮城県の事例紹介①

石油タンカーの入港を3日間短縮

海の啓開作業により、震災後初めての石油タンカーを塩釜港に入れることができた。塩釜は、津波による被害は比較的小さかったが、とにかくがれきの量は半端ではなかった。(中略)。片っ端からがれきを片付けて、3月24日だった最初の入港予定を21日に早めた。
(塩釜・東華建設社長 談)



陸路や港の啓開活動

啓開活動のほか、人命救助、物資の輸送、がれきの処理、水産物の廃棄、復旧工事、仮設住宅の建設など、宮城県の地域建設会社は幅広い活動を展開

出典 社団法人 宮城県建設業協会「風化させてはいけない記憶がある」



宮城県の事例紹介②



「今回われわれが石巻に入った時には**すでに、地元の建設業者が活動**していました。迅速に道を開いたりされていたので「すごいな」とまず感じました。作業は民間のオペレーターたちと組んで進めたが、やはり、**技術、技量の差をすごく感じました**。われわれの専門技術とは違うので、非常に勉強になりました」

(第44普通科連隊施設作業小隊長 談)

出典 社団法人福島県建設業協会「3・11 東日本大震災レポート」

地域建設業は人命救助、救援、復旧に貢献

東日本大震災では、**自らも被災しながら、人命の救助、救援、復旧のために貢献した建設会社が多数**

地震をはじめ、**自然災害が多く国土がもろくて弱い日本**

私たちの「**安心」「安全」「快適」「豊か**」暮らしのために、**地域建設産業が活躍していることを知っておこう**

地域建設産業は尊い職業

つまり、地域建設産業に従事する人々とは、

地域に生き、地域を理解し、
地域を愛する 技術集団。

地域の人々の暮らしと命を守る
大きな使命を背負う、尊い職業

長引く復興と問題点

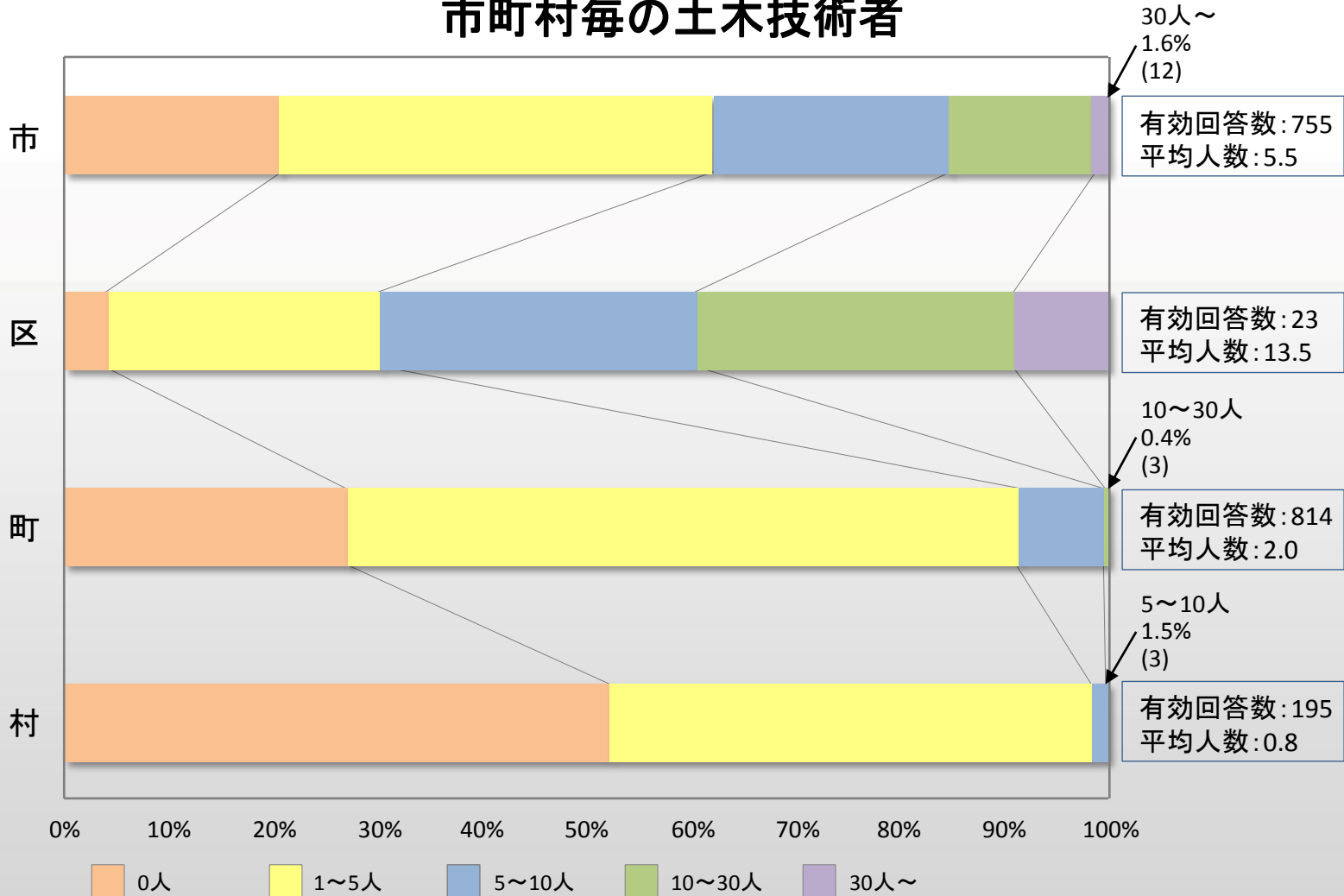
復旧・復興における諸問題

「千年に一度」と言われる東日本大震災。
長期化が予想される復旧・復興に
さまざまな課題・問題が発生！

そのなかでも特に重大な問題は……
技術者・技能者・労働者の不足！

若い力が足りない

市町村毎の土木技術者



※出典:国土交通省 道路橋の予防安全に向けた有識者会議 平成20年5月

復興の中心は地域建設産業

「東北復興」の中心的役割を担う地域建設産業

今こそ、英知を結集し、
地域を守っていかなければならない！
そのためには

この国の明日を支える
「キミたちの力」が必要！

建設産業に関わるさまざまな職種

■建設産業に関わるさまざまな職種

建築コンサルタント

プレストレスト・コンクリート工事業

土木工事業

板金工事業

建築工事業

機械土木工事業

型枠大工工事業

鉄筋工事業

地質調査業

測量業

コンクリート圧送工事業

舗装工事業

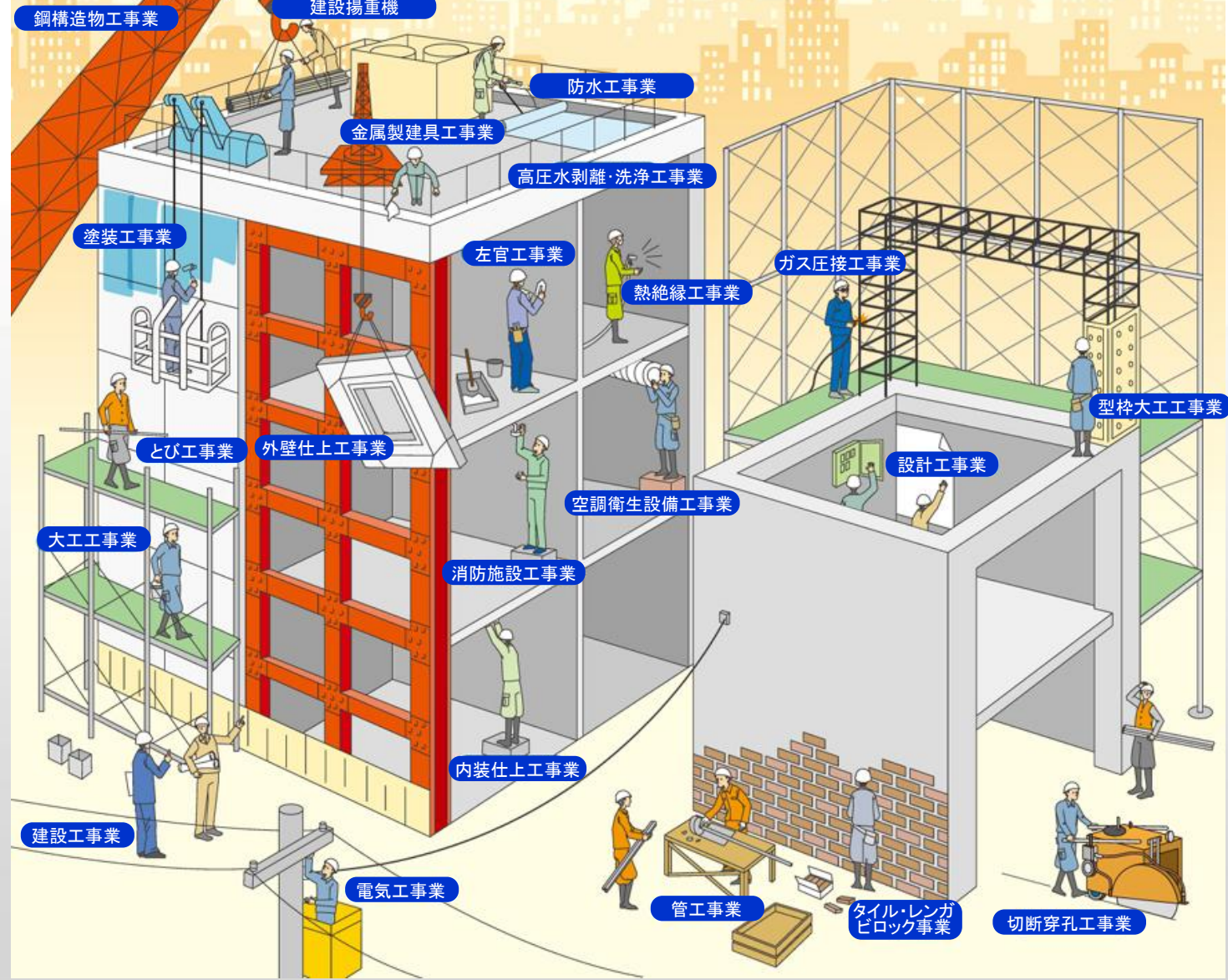
造園工事業

屋根工事業

しゅんせつ工事業

など多種多様

私たちは、このように活躍しています。



私たちがつくっています。



人手解消のために行政も支援開始

■最近の建設産業

職人の賃上げ要請へ＝デフレ脱却、人手不足解消目指す 建設業界に初の通達・国交省

建設業界に要請する方針を固めた。国交省がこうした要請を行うのは初めて。全国に310万人いる建設関連の職人の所得を向上させ、安倍政権が目指すデフレ脱却を後押しする。また、待遇改善によって職人の増加を促し、建設現場の恒常的な人手不足の解消を目指す。

(時事通信)2013/3/29

地域を作り、人々の生活を支える、
地域建設産業の発展に
今、大きな期待が寄せられている

東北建設業協会連合会